

りつめい

立命館大学校友会報

題字・末川 博名誉総長

R Alumni

立命館大学校友会

No. 272
2018 APRIL

100th

2019.つなげる校友会、
ひろがる立命館

R Alumni

りつめい No.272 / 2018年4月号

発行所 / 立命館大学校友会 / 年4回発行
発行人 / 村上健治
編集人 / 加藤美佐子
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217
URL: <http://alumni.ritsumeij.ac.jp>
E-mail: alumni@st.ritsumeij.ac.jp

ご連絡先の変更はこちらから▶



〔巻頭特集〕

親から子へ 想いをつなぐ

輝くひと

校友会設立
100周年
応援隊

歌手
倉木麻衣さん('05産社)

希望をつなぐ架け橋に

第1回京都学生祭典で実行委員を務め、平安神宮でスペシャルライブをしたのは倉木麻衣さんが大学3回生のとき。「ライブに来てくれた立命館の友人が『本当に〈倉木麻衣〉だったんだね!』と言っていて（笑）。芸能人としてではなく、同じ学生として接してくれたことがとてもうれしかったです」と学生生活を振り返る。昨年開催された京都学生祭典に15年ぶりのスペシャルゲストとして再登場した倉木さんは、京都を題材にした『Time after time ～花舞う街で～』と『渡月橋 ～君 想ふ～』を披露し、グランドフィナーレを華やかに飾った。そのほかにも「京都 嵐山一日観光大使」「京都観光おもてなし大使」「きもの日PR大使」を務め、2017年は第2の故郷・京都と縁深い1年だった。

17歳でデビューし、あっという間に日本のトップアーティスト入りを果たした。超多忙な毎日で、仕事と学業との両立にくじけそうになったこともあったが、同級生や周りのサポートと音楽の持つ力に助けられ、やり遂げることができたという。大学卒業論文のテーマは『ライブ空間の考察』。「観客はアーティストからの発信をどのように感じ、受け取るのか、また、観客との一体感はどういうようになっていくのかなどを研究しました。当時はまだ、ライブの経験が少なかったのですが、自分なりに考察し、紐解いていきました」。この研究でライブをする意味を深く理解し、音楽活動の幅を広げることができた、と倉木さんは話す。

2014年には単独ライブ300回を達成したが、今でも全神経を集中させてライブツアーに挑む。「最高のパフォーマンスをするために、気持ちから生活スタイルまで、私の全てをツアーに合わせます。だから、ツアーファイナルを迎えられたときの達成感は言葉では言い表せません」。その原動力は「ありがとう」という感謝の想い。「もうすぐデビュー20周年YEARに入ります。ここまで続けることができたのは『倉木麻衣』を応援し、支えてくださったみなさんのおかげです。その気持ちを伝えたくて、全力でライブに挑んでいます」。

今年3月には、中国最大のポップミュージックアワード「第25回 CHINESE TOP10 MUSIC AWARDS」に日本人アーティストとして初めて出演する。歌詞には、倉木さんの等身大の想いが溢れている。日本の歌姫は、国境を超えて、言葉を超えて「LOVE & PEACE」を発信し続けていく。

文：高原珠美 撮影：森昭人



歌手

倉木麻衣さん（'05 産社）

輝くひと
104

■ PROFILE

1999年、『Love, Day After Tomorrow』でデビュー。ミリオンヒットを立て続けに記録し、1stアルバム『delicious way』では400万枚を突破。日本を代表するアーティストとなる。

音楽活動と並行して、東日本大震災や熊本地震復興支援のボランティア活動、カンボジアの寺子屋支援など精力的に社会活動を行う。

2016年、立命館大学産業社会学部客員准教授に就任。

公式ホームページ ▶ <http://www.mai-kuraki.com>



[巻頭特集]

親から子へ
想いをつなぐ

無我夢中で走り続けた大学時代。
その情熱の炎は子どもたちへと受け継がれ、
さらに明るく未来を照らし出している。

文：高原珠美 撮影：津久井珠美

立命館大学校友会報

りつめい APRIL 2018
No.272

03 巻頭特集
親から子へ 想いをつなぐ

- 02 輝くひと
歌手
倉木麻衣さん
- 08 RITSUMEI INTERVIEW
有限会社オーバーサンプ
顧問・タレントマネージャー
山本明矢子さん
- 12 立命館の研究者たち
経営学部
吉田満梨 准教授
「『着物の価値』を発見し、新しい市場を創る」

- 14 校友会連絡先一覧
- 16 「オール立命館校友会大会2018 in 仙台」予告
- 17 3.11復興への願い
- 18 校友会未来人財育成基金
- 20 校友会設立100周年 Road to 2019 vol.08
- 21 校友会ネットワーク
行事報告
今後の行事予定

Present

アンケートにご協力いた
だいた方に抽選でプレゼ
ントをお贈りします！



- 24 学生の活躍
- 26 キャンパストピックス
- 29 Club×Circle
- 30 INFORMATION
編集室から

※掲載内容は全て、2018年2月時点のものです。
デザイン・ディライツ広告事務所

2人で手にしたチャンピオンベルト

B.M.Bボクシングジム会長 寺地 永^{ひさし}さん（'88経営） WBCライトフライ級王者 拳四朗^{しやうりやう}さん

2017年5月20日、東京都・有明コロシアムで行われた世界ボクシング評議会（WBC）ライトフライ級タイトルマッチ。新王者となった拳四朗さんは手にしたチャンピオンベルトを父・寺地永さんの腰に巻きつけた。「とても感慨深かった」と永さんはそのときの気持ちを語る。

永さんも元プロボクサー。高校生のとき、劇場版アニメ「あしたのジョー2」の影響でボクシングを始めた。日本ランキングの重量級ボクサーが立命館大学出身だったことを知り、立命館大学へ入学。3回生で主将を務め、4回生のとき全日本選手権で準優勝。卒業後は商社へ就職し、ボクシングから離れた生活をしていましたが、身体を動かそうとボクシングを再開した。続けるうちにジムのトレーナーに勤められ、1989年にプロデビュー。しばらく仕事とボクシングを両立させていたが、自分が好きなことに集中しようとボクシングの道を選んだ。当時、日本では少なかった中・重量級選手として活躍し、1993年に日本ミドル級、1996年に東洋太平洋ライトヘビー級タイトルを獲得。世界王者を目指すも、対戦相手が見つからず、ほぼ収入も途絶え、東洋太平洋ボクシング連盟からタイトル剥奪を宣告された。すでに2児の父となっていた永さんは家族を養うために2001年、37歳で引退。苦渋の決断だったという。引退後はさまざまな仕事を経験し、2005年にB.M.Bボクシングジム（京都府宇治市）の会長に就任した。

現役時代、家庭や子育てを妻に任せきりだったという永さん。引退後は家族と関わる時間が持てるようになり、当時、中学生だった次男の拳四朗さんをスポーツ推薦枠で高校に入学させようと、ボクシングを教え始めた。「自分ができたんやから息子もできるだろうと思ったけど、思うようにいかず、本当に歯がゆかった」と永さん。一方、急にボクシングをすることになった拳四朗さんは「練習もきついし、嫌で仕方なかった」と振り返る。

高校に進学し、卒業までと決めてボクシング部に入った拳四朗さん。そんな拳四朗さんに変化が訪れたのは高校2年生のとき。「主将を任せられ、「負けられない」と闘志が湧いてきたのでしょう。ボクシングの指導は高校の先生にお任せしていたのですが、練習に熱が入ってきたのがわかりました」と、永さんは話す。その後、大学へもスポーツ推薦で入学。2013年には、国民体育大会のライトフライ級で優勝、

全日本選手権ライトフライ級で準優勝の成績を残した。しかし、永さんは大学卒業後、拳四朗さんを競艇選手にしようと考えていた。「競艇選手の甥がいて。競艇は拳四朗の小さい身体も生かせるし、現役も長く続けられる。拳四朗にぴったりやなと思いました」。競艇試験をパスするため、特別試験応募資格の1つである「（財）日本ボクシングコミッション公認A級ライセンスの資格を取得し、日本ランキング5位以内の者」になるため、2014年に「拳四朗」としてプロデビュー。「それなりの実力があったので、プロになっても日本ランキングに入ることはわかっていて。これで、競艇選手に一步近づけたなと思いました」。しかし、永さんの思惑は外れることになる。出稽古で世界王者を目指すレベルの選手と戦わせたところ、拳四朗さんは次々と倒してしまったのだ。「想定外でした。「これなら世界王者を獲れる」と思って、そこからボクシングまっしぐらです。プロデビューして1年以内で世界が見えました」。プロになってからは負け知らず。拳四朗さんはわずか2年9カ月で、日本ライトフライ級、東洋太平洋ライトフライ級、WBC世界ライトフライ級のタイトルを獲得した。「僕は日本王者になるまでに4年かかりました。拳四朗は緊張感をうまくほぐして、よい状態にもっていく術を身につけています。この点は僕と一緒です。違うのはスタミナ。拳四朗は12ラウンド戦っても、息が切れない。生まれ持った強さです」と永さんは分析する。

拳四朗さんがプロデビューをしてから、永さんは現役時代と同じような充実した日々を送っているという。「緊張感を持って試合に挑み、勝利を喜ぶ。リングの外でも同じ気持ちです」。世界王者が獲れなかったのはボクシングに集中していなかったから、と悔やんでいた永さんは息子に同じ轍を踏ませないようにとボクシングに集中できる環境を整えている。「短い選手生命、今は我慢のとき。引退してから思う存分遊んだらいい」。その想いに応えるように、拳四朗さんは毎日過酷な練習に励み、昨年末には2度目のタイトル防衛を果たした。

チャンピオンベルトを真っ先に永さんに巻きつけたのは「僕をボクシングに導いてくれた、感謝の気持ちから」と拳四朗さんは教えてくれた。次は世界タイトル全制覇。父と息子、二人三脚で新たな夢を目指す。

Profile

寺地 永さん

元プロボクサー。タイトル歴は日本ミドル級王者（防衛3）、東洋太平洋ライトヘビー級王者（防衛4）。プロ戦績は24戦20勝（11KO）1敗3引き分け。2001年に引退。現B.M.Bボクシングジム会長。

拳四朗さん（本名：寺地 拳四朗）

1992年生まれ。2014年、B.M.Bボクシングジムからプロデビュー。2015年日本ライトフライ級王者、2016年東洋太平洋ライトフライ級王者、2017年WBC世界ライトフライ級王者（防衛2）。プロ戦績は、12戦12勝（6KO）。親子で東洋太平洋王者は日本初。次の試合は春頃の予定。※2018年2月現在

4世代に受け継がれる才能

高橋 正記さん('00経営) (旧姓:田阪)直子さん('01経営) 慶太くん 茉奈ちゃん

2017年8月に開催された小学生以下を対象とした卓球全国大会「第35回全国ホープス卓球大会」男子団体の部で京都の小学生トリオが初優勝を果たした。3人は日本の卓球界で名をとどろかせた「田阪家」の血筋を受け継いでおり、一番年上の高橋慶太くん(12歳)は校友の高橋正記さん・直子さんの長男だ。

直子さんの祖父・田阪常雄さんは、1950年代に卓球日本代表監督を務め、また、自身の息子たち6人全員を卓球選手に育てた。直子さんの父・弘さんは、田阪卓球会館(京都市伏見区)を受け継ぎ、卓球教室を運営。直子さんはそのサポートをしながら、4世代目の慶太くんたちの練習を見守る。

正記さんと直子さんは、卓球で関西トップクラスの大学に行きたいと思い、立命館大学へ入学。そこで卓球部の先輩、後輩として出会った。2人は卓球部主将として、関西学生リーグ戦(秋リーグ)でチームを優勝に導いた経験をもつ。正記さんは大学卒業と同時に現役を引退。直子さんは卒業後、日本ペイント株式会社(現・日本ペイントホールディングス株式会社)で3年ほど活躍後、現役引退。出産を機に退職し、卓球から離れた生活を送っていた。再び卓球に関わるようになったのは慶太くんが5歳になったころのこと。何かスポーツをさせたいと思っていた2人は、身近に整った環境があるという理由で卓球を勧めた。「無理やりさせたわけではないのですが、始めたころは卓球が好きではなかったと思います」と直子さん。しかし、慶太くんは少しずつ夢中になっていき、今では毎日夜遅くまでの練習を終えたあと、学校の宿題を早々と終わらせ、卓球のスーパープレーの動画を見る日々を送る。それだけでは飽き足らず、枕元に卓球専門誌を置いて眠りにつくほどだ。

卓球の試合は年中あり、シーズンオフの期間がほとんどない。慶太くんは学校が長期休暇に入ると、中国や台湾などで行われる強化合宿に参加するため、ここ数年は家族全員で正月を迎えていないという。「小さいころから練習ばかりで、友達と遊ぶ時間はほとんどありませんでした。だから学校で仲間外れになっていないか心配で……。子どもらしいことをさせてあげられなくて、かわいそうなことをしたかな、と悩んだ時期もありました」と直子さん。そう思うのは、直子さん自身も小さいころから練習の日々だったから。母として思い悩む直子さんを救ったのは「小さいころに打ち込めるものが見つかって、いいやん」とい

う立命館大学時代の先輩の言葉だった。「そう言ってくればったから、「ああ、そうか」と思えて。それからは迷いなく卓球の道まっしぐらです」と笑顔で話す。

慶太くんたちを指導するのは、直子さんの妹・由美さん夫婦。由美さんも立命館大学出身で、卒業後は実業団の選手として活躍。現在は指導者として自身の子どもたちを含む、未来を担う若き選手たちを育てている。直子さんと由美さんは幼いころから常にライバル関係だった。だからこそ今は、信頼して子どもたちを任せている。「僕たちは卓球のことでガミガミ言いません。試合に負けたとしても「勉強になったやん」と諭したり、励ましたり。練習が厳しいからこそ、家では気持ちよく卓球に取り組めるようにフォローしています」と正記さん。ただし、子どもたちが社会に出たときに「卓球しかできひんのやな」と言われないように、しつけは厳しくしている。「卓球で食べていけるのは、ほんのひと握りの選手だけ。今は恵まれた環境にいること、周りのみんなに支えてもらって卓球ができていること、そのことへの感謝を忘れてはいけな」と言い続けています。同じ道を歩んできたからこそ、子どもたちに伝えられることがある。

長女の茉奈ちゃんは、現在6歳。「ファイターな慶太とは対照的に、茉奈はマイペース。試合中もニコニコして、勝ち負けに執着していません」。しかし、DNAは受け継ぎ、昨年の全日本卓球選手権大会(バンビの部)では決勝トーナメントまで駒を進めた。

高橋さん一家にとって、これまでの全てが卓球一色。苦しいことも、楽しいことも卓球を通じて家族みんなと一緒に味わってきた。「遊ぶのは引退してから、いくらでもできる。今できることを悔いが残らないようにやりきって欲しいです」。

昨年、全日本卓球選手権大会(カデットの部)13歳以下男子シングルスでベスト8に入った慶太くんの次の目標は、同大会でベスト4に入ること。「慶太は飽きるまで卓球を続けるでしょうが、茉奈は違うことをやりたいと言い出すかもしれません。それはそれでいい。子どもたちの想いを尊重して、やりたいことをやらせてあげたい。どんな道でも子どもたちを応援していきたいと思います」。練習に取り組む子どもたちの姿に目を細めながら、2人はそう語った。

Profile

高橋正記さん・直子さんは、立命館大学卓球部で主将を務めた経歴をもつ。直子さんは、かつて卓球界で名をとどろかせた名門「田阪家」で育ち、2人の長男・慶太くん(12歳)、長女・茉奈ちゃん(6歳)もそのDNAを受け継ぐ。慶太くんは、昨年の全国ホープス卓球大会男子団体の部で初優勝、全日本卓球選手権大会(カデットの部)13歳以下男子シングルスでベスト8入りを果たす。茉奈ちゃんは、昨年の全日本卓球選手権大会(バンビの部)で決勝トーナメントに出場した。※2018年2月現在

子どもたちに絆のある仲間を

有限会社オーバーサンプ
顧問・タレントマネージャー

山本 明矢子 さん （2005年 産業社会学部卒業）

2本のロープを使う縄跳び競技の「ダブルダッチ」。
向かい合った2人のターナー（回し手）が、右手のロープと左手のロープを
半周ずらして内側に回す中を、ジャンパー（跳び手）がダンスや
アクロバティックなパフォーマンスを交えて跳び、観客を魅了する。
日本初のダブルダッチプロチームが所属する「オーバーサンプ」で
顧問・タレントマネージャーを務める山本明矢子さんに話を聞いた。

オーバーサンプには、プロダブルダッチチームが4つ
所属しています。4チームの18人中8人が立命館大学の
校友です。活動の範囲は国内だけにとどまらず、世界
のトップレベルのパフォーマーが集まる「シルク・ドゥ・
ソレイユ」のショーに参加しているメンバーが10人在籍
しています。そのうちの3人が校友で、彼らは現在、カナ
ダからスタートしたワールドツアー「VOLTA」と、メキシ
コの常設ステージ「JOYÁ」に参加しています。

私とダブルダッチとの出会いは立命館大学に入ってすぐのこと。仲間の1人が希望していたサークルに入部できなくなり、「それなら、まだ立命館にない新しいサークルを作ろう」と、2001年にダブルダッチのサークル「dig up treasure」（現・同好会）を立ち上げました。当時は日



シルク・ドゥ・ソレイユ「JOYÁ」でのパフォーマンス
校友の石川尚次郎さん（'12法）（左端）、川南光さん（'13法）（右端）が参加

本にダブルダッチの情報がほとんどなく、専用の縄を探すところから始めたほどでした。この競技は時間に余裕があって「カッコいいもの」を求めている大学生のニーズにマッチして、この頃から次第に関東や関西のほかの大学でもダブルダッチを始める人が増えていきました。

コミュニケーションが必須な競技

ダブルダッチの発祥は、1970年代。ニューヨークで横行していた非行を抑止することを目的に警察官がルールを決め、広められました。競技自体の見た目はシンプルで、向かい合った2人が2つのロープを回す単純なことからはじめます。しかし、ターナー同士の息が合わないとロープは絶対に回りません。これがダブルダッチの奥深さで、相手を受け入れ、良い関係が築けないと上手くいかないというコミュニケーション的要素を含んだスポーツなのです。まず、自己を見つめ、自分を受け入れることで、相手を受け入れることができるようになります。そのことを、大人も子どもも競技を通じて学ぶのです。ダブルダッチに魅せられた私たちは、この競技をもっと普及させるべきだと思い、勉強と練習の合間を縫って京都の児童館や学童保育などで、子ども向けのダブルダッチのワークショップをボランティアで始めました。また一方では、ダブルダッチの日本大会を独自に企画・運営するなど活動の幅を広げていきました。



〔文〕高原珠美 〔撮影〕宅間國博（P9、P11 PROFILE）



「alltype」 校友は石川尚次郎さん（'12法）（左後）、見島良拓さん（'10文）（中央）、川南光さん（'13法）（右前）

絆のある仲間を作るチャンス

私には障害がある弟がいます。障害児教育に携わりたく、当時、新設されたばかりの産業社会学部の人間福祉を専攻。学びを深めていくうちに「子どもに対する虐待」について関心を持ち、在学中に児童相談所の嘱託職員として携わるチャンスを得ました。泊まり込みで子どもたちのケアをしながら虐待に至るまでの経緯など、さまざまなケースに触れました。その中で育児に対する不安やストレスが募って子どもを虐待するケースを見て「この保護者に相談できる仲間がいたら、子どもを虐待するまでには至らなかったのではないか」と感じたのです。卒業後は福祉か教育のフィールドに身を置くことも考えていましたが、「私は何か違う形で世の中を変えていくことをすべきなのでは」と思い直しました。そこで「ダブルダッチを普及させれば、子どもたちに仲間を作るチャンスを提供できる。その子どもたちが親になった時に信頼できる仲間がいれば、子どもたちに対する虐待を減らすことができる」と直感的に思い、ダブルダッチを世界中に普及させることを決意したのです。卒業後は中国の大学へ短期留学をし、中国語を学びながら、現地でダブルダッチの指導と普及活動を行いました。帰国後の2006年、仲間とダブルダッチのプロダクション会社を日本で立ち上げる運びとなり、私は専務取締役役に就任。現在は顧問・タレントマネージャーを務めています。

取り戻した子どもたちの笑顔

これまでの活動で特に印象深いのは、東日本大震災の時のこと。2011年3月11日、私はプロチームCAPLIOREのメンバーと仕事でシンガポールに行く予

定でした。しかし、震災の影響で飛行機は欠航。混乱する中、どうにか翌日にシンガポールへ渡りました。現地に着いてから日本の被害状況を知り、そして、ダブルダッチの普及活動をしていた岩手県出身の仲間が津波で亡くなったと連絡が入ったのです。メンバーと話し合い、シンガポールでの仕事を終えたら被災地に行くことを決めました。シンガポールや日本の方からお預かりした寄付金

や物資を持って、翌月、陸前高田市と大船渡市に出向きました。力仕事や炊き出しなど、私たちができることは何でも協力するつもりでしたが、「せっかくダブルダッチの世界チャンピオンが来てくれたなら、ぜひ、パフォーマンスしてください」と現地の方が言われ、被災された方が生活をしていた体育館でパフォーマンス用のスペースを確保してくれました。突然のことで何を話したらいいのかさえ私たちには分かりませんでしたが、「とにかくできることをやろう」と精一杯のパフォーマンスを披露。そして、一緒に楽しんでもらおうと、その場にいた子どもたちと縄を跳び始めました。すると、その様子を見ていた大人たちが涙したのです。理由を聞くと、



チーム全員が校友の「NEWTRAD」高村愛さん（'16経営）（左後）、寺島賢さん（'16産社）（右後）、牧島一輝さん（'17情理）（左前）、中村友理奈さん（'16経営）（右前）

INTERVIEW

震災以降、大人に気を遣って笑顔を見せなくなった子どもたちが、縄を跳ぶことで自然と笑顔になった。その様子を見て涙が溢れてきたとのことでした。たった2本のロープで、こんなにも多くの人を笑顔にできるとは……。ダブルダッチがもつ威力を実感した貴重な経験でした。被災地での活動は現在も続けており、累計2万人以上と一緒に縄を跳んでいます。

トップレベルの舞台へ

そして、私たちはさらに飛躍するべく、2011年にCAPLIOREのメンバーがシルク・ドゥ・ソレイユのオーディションを受けました。結果、全員が見事合格。チーム全員が合格することはシルク・ドゥ・ソレイユ始まって以来のことでした。シルク・ドゥ・ソレイユではオーディションを通過後、アーティストバンクに登録されます。そこに登録されても一生出演のオファーがない人もいる中、幸いなことにCAPLIOREは翌年に出演依頼がありました。「世界中の文化や宗教、言語など、色々なものを超えて一流のパフォーマーが集まるシルク・ドゥ・ソレイユで一番大切なことは、そこで良い人間関係を築けるかどうか。私たちはあなたたちが発信しているブログで、あなたたちの心ある活動を見ていました。それで一緒に働きたいと思い、オファーをしたのです」と、シルク・ドゥ・ソレイユの関係者から聞き、これまでの活動が実り、新しい道が切り拓かれていくことを肌で感じました。CAPLIOREのメンバーはシルク・ドゥ・ソレイユに参加しても、おごらず、仲間やショーのために貢献する真摯な姿勢が評価され、短期の契約から年間の長期契約を結んでもらえることに。私たちの会社の信頼も得て、別チームのパフォーマーもシルク・ドゥ・ソレイユに出演



「CAPLIORE」のメンバー

できる道が拓けたのです。

これら私たちの活動は、毎日放送のテレビ番組「情熱大陸」でも取り上げられ、



「REGSTYLE」 校友は佐々木唯さん（'11産社）（左端）

より多くの方に知っていただく機会を得ました。

振り返ると18年間、仲間とともに走り続けて、ようやくここまで来ました。立命館大学で出合ったダブルダッチは、予想すらしなかった、素晴らしい世界を見せてくれました。この競技は今後、学校教育の現場でも取り入れられて、さらに広まっていくと実感しています。

私が情熱を持って普及活動が続けることができた理由は、虐待によって傷ついた子どもたちに生きる希望を持って欲しかったから。「僕、死んだほうがいいかな」と聞いてきた子どもたちに、果敢にチャレンジをする私の姿を見て「大人になるって楽しそうだな」と感じて欲しいのです。どんな子どもたちも「私」が“私”として、生まれてきてよかった」と喜びとともに生きられる環境になることを心から願っています。

PROFILE

有限会社オーバーサンプ
顧問・タレントマネージャー

山本 明矢子 さん

2005年産業社会学部卒業。2006年、同社専務取締役役に就任。現在、顧問・タレントマネージャー。ダブルダッチのプロチーム「CAPLIORE」「REGSTYLE」「alltype」「NEWTRAD」が所属。そのうち10人がシルク・ドゥ・ソレイユに出演中。

【オーバーサンプホームページ】 <http://ov-t.com>



ダブルダッチは、年齢問わず楽しめる競技で、競技人口は推計20万人です。世界大会の開催や全国でスクールも展開されています。

「着物の価値」を発見し、新しい市場を創る

「それまで存在していなかった市場がいかにして創られるのか」に関心を持ち、マーケティング研究に取り組む吉田満梨・経営学部准教授。中でも、立命館大学が位置する京都の主要産業の一つである着物に関心を持ち、「消費者視点」を取り入れながら市場拡大の可能性を探っている。

日常着からフォーマル品・資産へ変化する着物の価値

吉田准教授は、マーケティング研究の中でも、製品がそれまでにない価値を持つことで新たな市場が生まれるプロセスに関心を抱いている。近年注目しているのが、斜陽といわれて久しい着物市場だ。「市場は企業の戦略とユーザーの消費行動の両方が絡み合って成立しています。これまで企業の戦略先行だった着物市場に『消費者の視点』を取り入れることが、衰退に歯止めをかける糸口になると考えています」と吉田准教授は言う。

ライフスタイルの変化によって着物を着なくなったことが、着物産業が勢いをなくした原因だと着物関係者の多くは考えている。しかし「そもそもこの考え方が、

いまだ着物市場を回復できない原因ではないでしょうか」と吉田准教授は指摘する。吉田准教授によると、確かに「着物離れ」は1970年代後半に顕著になり、着物の生産数量が急激に下がっていくが、着物の世帯あたりの年間支出金額はバブル経済が崩壊する1990年代前半まで増加し続けており、市場は決して小さくなっていない（図1）。着物が着られなくなったにもかかわらず市場が維持された理由は、着物ビジネスが「高級化・高付加価値化」へとシフトしたことにあり、その結果、消費者にとって着物が普段着るものから特別な時にだけ着るフォーマル品へ、さらには次代に残す「資産」へとその価値を変えたと説明する。ところがバブル経済の崩壊後、資産として高価な着物を購入する人が減り、

「高級路線」のビジネスモデルが立ち行かなくなったことで、着物市場は縮小していったというわけだ。

現代着物ユーザーにとっての「着物の価値」を明らかに

「もう一度着物産業を盛り返すためには、まず現代の消費者が着物にどのような『価値』を見出しているかを知る必要があります」と吉田准教授。そこで着物ユーザーとそれに関わる多様な事業者を対象に調査を実施し、消費者の考える「着物の価値＝魅力」として6つの因子を導き出すとともに、これらの因子が「着用頻度」や「支出金額」とどのように関係するのかを明らかにした。

その結果わかったのは、着物を「着る」



経営学部
吉田 満梨 准教授

Profile Mari Yoshida

2003年 立命館大学国際関係学部卒業
2009年 神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
首都大学東京都市教養学部助教
2010年～ 立命館大学経営学部准教授
2014～2015年 Visiting Professor, Department of Marketing, Otago Business School

価で普段使いの着物や、洋服と組み合わせるといった、よりファッション性の高い着物の市場が現れたり、『カジュアル・イベント着（図3-D）』として卒業式などの晴れ着に斬新な柄のプリント生地を使った着物や、さらにはジャージー素材やはっ水素材など従来にはなかった素材のモダンなデザインの着物が登場し、ビジネスも活性化しています」と吉田准教授。一方で、着物業界独特の流通システムから脱却し、絵柄のデザインから完全オーダーで着物を誂えるメーカー直販のベンチャー企業など、高付

加価値製品の市場にも新しい潮流が生まれつつある。

「新しい世代の企業が次々と参入することで、海水浴の後に羽織る浴衣、キャンプ中でも機能的に着られる着物など、『スポーツ』や『レジャー』といった、まったく新しい『着物の価値』の創出も期待できます」と吉田准教授は語る。

「現代の着物市場に求められているのは、晴れ着や高級品だけではなく、今後さらに魅力的な市場になっていく可能性は十分あると思っています」。

図1 着物に対する世帯あたり年間支出金額の推移

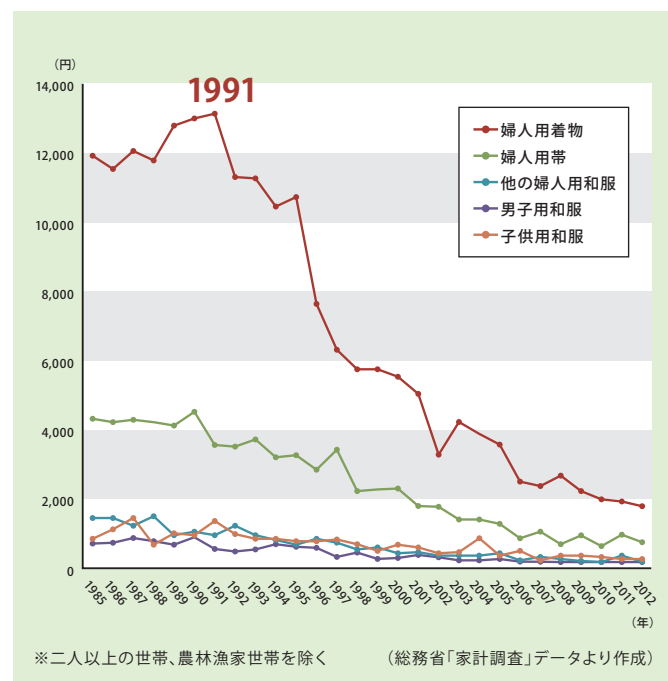
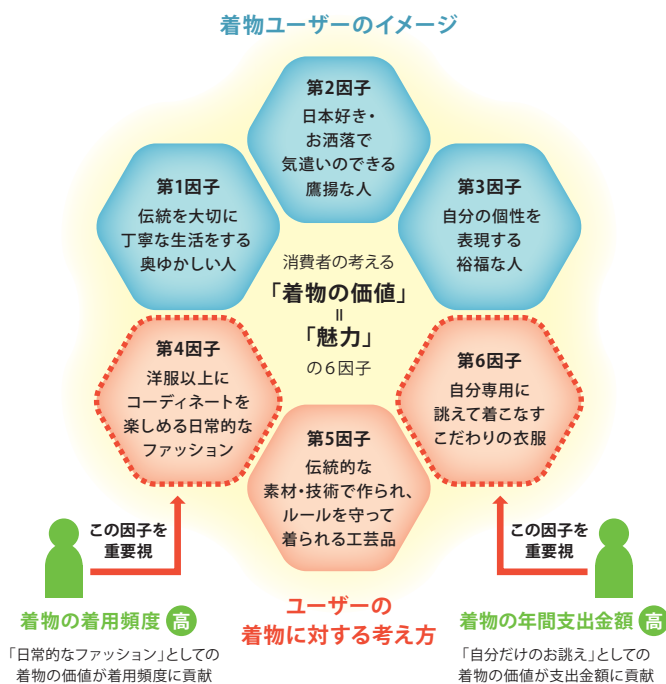


図2 「着物の価値」と着用頻度、年間支出金額との関係



人と「買う」人とは、着物に求める「価値」が異なるということだった。「『洋服以上にコーディネートを楽しめる日常的なファッション』として着物を誂えている人は、着物を着る頻度は高いものの、着物への支出は決して多くありません。着物にお金をかけているのは、『自分専用に誂えて』こだわりの着物を着こなす、すなわち昔ながらのオーダーメイドの特別感に魅力を感じている人でした」（図2）。

このように多様化する「着物の価値」を正しく認識せずに、すべての着物ユーザーを一括りにして従来通りの高級路線を貫いても、あるいはやみくもに低価格化を進めても、市場の拡大には結びつかない。「手頃な価格で気軽に行ける回転寿司店と、特別な時などに奮発する高級寿司店があるように、消費者の多様な価値観に応じて提供する製品やサービスも多様化させることで、着物市場全体が大きくなるはずだ」と吉田准教授は言う。

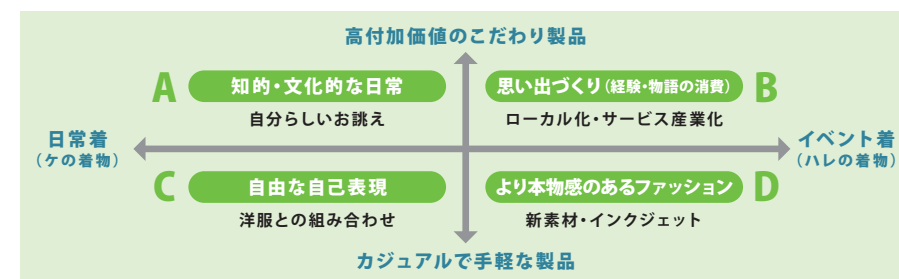
例えば、「日常着としてコーディネートを楽しむファッション」に着物の価値を見出している人には、高価なフォーマル品を提案するよりも、多様な色合わせや柄合わせ、コーディネートの楽しさを提案するなど、着物の着用頻度を高めるアプローチが必要だろう。

多様な価値を創出し着物市場を拡大する

吉田准教授は、生地から選んで誂えて、特別な時だけに着る高付加価値のこだわり製品とカジュアルで手軽な製品、ハレの日のイベント着と日常着という4軸に市場を細分化してみた上で、それぞれの市場のユーザーに的確にアプローチすることが大切だと説く（図3）。

「例えば、『カジュアル・日常着（図3-C）』の領域には、アンティーク着物や仕立て済みの合織着物などの比較的安

図3 多様化する着物市場



都道府県校友会・学部校友会 連絡先一覧 2018年2月現在

立命館大学校友会では、都道府県や地域・職域・学部学科・サークルなどを基盤とした校友グループを組織し、多様な活動を展開しています。お問い合わせは、下記の一覧に掲載されている各校友会に直接ご連絡ください。連絡先が掲載されていない校友会に関するお問い合わせは校友会事務局までご連絡ください。

校友会本部役員

副会長	村上 健治	’70産社	元・大和ハウス工業 (株) 代表取締役社長	副会長	佐藤友美子	’75文	追手門学院大学地域創造学部地域創造学科教授
	高崎 秀夫	’67法	(株) 京都銀行代表取締役会長		高橋祥二郎	’79経済	(株) 滋賀銀行取締役頭取
	小野 守通	’69経営	(株) タクト相談役		森川 典子	’81産社	ボッシュ (株) 取締役副社長
	鮎井 憲	’69経済	元・(株) 南都銀行代表取締役専務取締役	奥村 陽一	’86院経営	立命館大学経営管理研究科長	
	岡野 益巳	’72理工	(株) 岡野組代表取締役	監 事	佐竹 力総	’70法	(株) 美濃吉代表取締役社長
	福元 寅典	’72経済	前・(株) 南日本新聞社専務取締役		伊藤 昇	’71法	元・(学) 立命館総務部長
	林 幸雄	’73産社	(株) 電広エイジェンシー代表取締役社長		鈴木 治一	’91法	植松・鈴木法律事務所弁護士
	伊藤 博行	’74理工	元・全日本空輸 (株) 代表取締役副社長				

都道府県校友会

校 友 会 名	会 長 名	事 務 局	連絡先電話番号
立命館大学北海道校友会	千廣 隆章	〒006-0805 札幌市手稲区新発寒五条1-8-1 中川均 様	011-251-5008
立命館大学東北道校友会	本田 公一	〒080-0802 帯広市東二条南4丁目10 菊池貞雄 様	090-6447-2969
立命館大学青森県校友会	水木 洋	〒030-0803 青森市安方1-5-17 船水重利 様	017-722-2926
立命館大学岩手県校友会	菊池 宏	〒020-0802 盛岡市つつじが丘7-3 酒井博忠 様	019-654-3893
立命館大学宮城県校友会	大沼 久明	〒984-0831 仙台市若林区冲野4-5-20 柏原晋 様	022-286-9928
立命館大学秋田県校友会	今野 謙	〒010-1436 秋田市大住2-4-19 今野謙 様	018-831-1250
立命館大学山形県校友会	伊藤 邦男	〒990-2483 山形市上町1丁目5-22 伊藤邦男 様	023-643-6914
立命館大学福島県校友会	桑原 勇健	〒963-8877 郡山市堂前町3-33 馬場幸蔵 様	024-922-4964
立命館大学茨城県校友会	木村 幸夫	〒310-0903 水戸市堀町2247-8 木村幸夫 様	029-252-8401
立命館大学栃木県校友会	笠原 朋雄	〒329-1104 宇都宮市下岡本町3792-4 笠原朋雄 様	028-673-1783
立命館大学群馬県校友会	石橋 博	〒370-3521 高崎市棟高町1802-409 石橋博 様	027-372-8422
立命館大学埼玉県校友会	小玉 秀生	〒104-0043 東京都中央区湊1-1-16 TMKビル3階 エクセルアート (株) 内 榎本哲郎 様	03-3552-2201
立命館大学千葉県校友会	小林 常男	〒274-0805 船橋市二和東5-48-17 森下功 様	047-449-4329
立命館大学東京校友会	竹内美奈子	〒100-0005 千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー 8階 立命館東京キャンパス	03-5224-8188
立命館大学神奈川県校友会	野口 邦夫	〒242-0015 大和市下和田1152 山田和久 様	046-267-3332
立命館大学新潟県校友会	樋口 和道	〒950-2072 新潟市西区松美台8-25-8 渡邊剛 様	025-265-6596
立命館大学山梨県校友会	福田 秀夫	〒400-0065 甲府市真川2-5-33 久保田忠行 様	055-227-5136
立命館大学長野県校友会	高木 春光	〒390-0822 松本市神田1-28-2 降幡信秀 様	0263-25-0279
立命館大学富山県校友会	田村 哲朗	〒939-8212 富山市掛尾町227-1 福田豊 様	076-461-7866
立命館大学石川県校友会	西村 和也	〒921-8103 金沢市つつじが丘107 木場密雄 様	070-5145-7868
立命館大学福井県校友会	品谷 義雄	〒910-0024 福井市照手3丁目2-17 橘誠一 様	0776-23-3542
立命館大学岐阜県校友会	平野 順一	〒503-0807 大垣市今宿4-32-1 (株) 大垣麵房 内	0584-74-3036
立命館大学静岡県校友会	加藤 誠	〒420-0882 静岡市葵区安東2丁目8-5 佐藤友清 様	054-245-2065
立命館大学愛知県校友会	伊藤 享司	〒457-0861 名古屋市南区明治1-4-21 (株) あかのれん本部内	052-692-6811
立命館大学三重県校友会	山川 和俊	〒516-0053 伊勢市中須町1651-1 山川和俊 様	0596-28-5509
立命館大学滋賀県校友会	辻 淳夫	〒520-8686 大津市浜町1-38 (株) 滋賀銀行 市場国際部 坂田耕治 様	077-521-2379
立命館大学京都校友会	岡野 益巳	〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 立命館大学 校友・父母課	075-813-8216
立命館大学大阪校友会	佐藤友美子	〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階 立命館大阪梅田キャンパス	06-6360-4895
立命館大学兵庫県校友会	水田 宗人	〒658-0016 神戸市東灘区本山中町4丁目10番5号 伊藤四朗 様	078-451-7751
立命館大学奈良県校友会	鮎井 憲	〒633-0003 桜井市朝倉台東4-1585-39 門脇由幸 様	0744-43-1918
立命館大学和歌山県校友会	村上 長保	〒640-8222 和歌山市湊本町1-10-1-405 和田好史 様	073-432-7039
立命館大学鳥取県東部校友会	谷口 博繁	〒680-0874 鳥取市叶122 西垣ビル (株) アド・ネットワーク内	0857-30-0555
立命館大学鳥取県西部校友会	秦 伊知郎	〒683-0037 米子市昭和町25-1 サンイン技術コンサルタント (株) 内 大野木昭夫 様	0859-32-3308
立命館大学島根県校友会	安達 且	〒690-0007 松江市御手船場町572-2 和田裕之 様	0852-21-9907
立命館大学岡山県校友会	守屋 博司	〒700-0903 岡山市北区幸町7-14 天水 幸町店内 守屋博司 様	090-3638-9784

立命館大学校友会事務局

電話：075-813-8216
(土日祝日を除く 9：00 ～ 17：30)
E-mail：alumni@st.ritsumei.ac.jp

校 友 会 名	会 長 名	事 務 局	連絡先電話番号
立命館大学広島県校友会	高面 治美	〒731-0138 広島市安佐南区祇園7-28-9-4 足羽真一 様	082-875-4526
立命館大学広島県東部校友会	小田 正己	〒720-0808 福山市昭和町6-1 福山電業 (株) 内 島田斉 様	084-922-6361
立命館大学山口県校友会	清弘 和毅	〒753-0043 山口市宮島町7-21 中村史朗 様	083-924-0283
立命館大学宇部小野田校友会	江本 郁夫	〒755-8601 宇部市常盤町1-7-1 宇部市役所内 森島正信 様	0836-34-8334
立命館大学徳島県校友会	鎌田 啓三	〒770-0874 徳島市南沖洲2-7-33 鎌田啓三 様	088-664-2344
立命館大学香川県校友会	松浦 康隆	〒760-0071 高松市藤塚町2-12-15-404 穴吹学 様	087-862-3565
立命館大学愛媛県校友会	松本 等	〒791-8022 松山市美沢1丁目1番19号 石田二郎 様	090-4501-0786
立命館大学高知県校友会	平井 雅章	〒781-5108 高知市潮見台1-3101 千蒲悦嗣 様	090-1322-5381
立命館大学福岡県校友会	森下 良吉	〒812-0892 福岡市博多区東那珂3-6-62 大成印刷 (株) 内	092-472-2621
立命館大学北九州校友会	藤田 卓也	〒804-0025 北九州市戸畑区福柳木2-3-11 初村雅敬 様	093-882-9240
立命館大学佐賀県校友会	白武 悟	〒842-0051 神崎市千代田町黒井172 増田定次 様	0952-44-4248
立命館大学長崎県校友会	市原 正博	〒850-0037 長崎市金屋町4-5 第一昭成レヂデンス2階 (株) 長崎ガードシステム内	095-825-3795
立命館大学熊本県校友会	隈部 幸一	〒862-0950 熊本市中央区水前寺1-1-16 フェリーチェ新水前寺902 飯田俊之 様	090-1368-8809
立命館大学大分県校友会	直野 清光	〒870-0128 大分市森108-83 佐藤昌彦 様	097-521-5392
立命館大学宮崎県校友会	橋口 剛和	〒880-0926 宮崎市月見ヶ丘5-1-1 フォンテ月見ヶ丘三番館202 南英輝 様	0985-44-1975
立命館大学鹿児島県校友会	前迫栄二郎	〒891-0150 鹿児島市坂之上3-11-16 梅井昭広 様	090-4779-0025
立命館大学沖縄県校友会	糸洲 昇	〒900-0005 那覇市天久2-28-23-203 島袋健 様	090-7587-0858

学部・学系校友会

衣笠キャンパス 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1			
校 友 会 名	会 長 名	事 務 局	連絡先電話番号
立命館大学法学部同窓会	久岡 康成	法学部事務室内	075-465-8175
立命館大学文学部校友会	池坊 専好	文学部事務室内	075-465-8187
立命館大学産業社会学部校友会	古谷 寛	産業社会学部事務室内	075-465-8185
立命館大学国際関係学部校友会	吉丸 尚宏	国際関係学部事務室内	075-465-1211
立命館大学映像学部同窓会	大矢 侑輝	映像学部事務室内	075-465-1990
立命館大学大学院 応用人間科学研究科校友会	野池 雅人	衣笠独立研究科事務室内	075-465-8375
立命館大学大学院 言語教育情報研究科同窓会	和氣 秀美	衣笠独立研究科事務室内	075-465-8363

大阪いばらきキャンパス 〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150			
校 友 会 名	会 長 名	事 務 局	連絡先電話番号
立命館大学経営学部校友会	奥田 直幸	経営学部事務室内	072-665-2090
立命館大学政策科学部同窓会 「洋洋会」	小原 弘己	政策科学部事務室内	072-665-2080
RIMOT (テクノロジー・マネジメント 研究科校友会)	岡崎永実子	OIC 独立研究科事務室内	072-665-2100
立命館大学経営大学院校友会(RIMO)	下村 治生	OIC 独立研究科事務室内	072-665-2101

海外校友会

立命館大学北カリフォルニア校友会 立命館大学ロスアンジェルス校友会 立命館テキサス会 立命館大学シカゴ校友会 立命館ニューヨーク校友会 立命館大学バンクーバー校友会	立命館大学ブラジル校友会 立命館大学シドニー校友会 立命館大学英国校友会 立命館大学ドイツ校友会 立命館大学北京校友会 天津立命館校友会	立命館大学大連校友会 立命館大学上海広小路会 立命館大学長三角校友会 立命館大学広州校友会 立命館大学香港校友会 立命館大学台湾校友会	立命館大学インド校友会 立命館大学インドネシア校友会 在韓立命館大学同門会 立命館大学マレーシア校友会 立命館大学モンゴル校友会 立命館大学ミャンマー校友会	立命館大学マニラ校友会 立命館大学シンガポール校友会 立命館大学タイ王国校友会 立命館大学サイゴン校友会 立命館大学ハノイ校友会
---	---	--	---	--



当日は仙台駅内広場を
立命館一色にします！
立命館特設ブースやステージ等を予定

地方校友大会フィナーレ！ おでんせ東北！

全国から1,000人以上の立命館ファミリーが集う「オール立命館校友会大会」。

これまで東海ブロック(名古屋)、九州・沖縄ブロック(福岡)、関東・甲信越ブロック(新潟)、中国・四国ブロック(岡山)、
北陸ブロック(金沢)と、全国各地で校友同士、立命館と校友の絆を深めてきた地方校友大会も、
2018年北海道・東北ブロック開催となる「オール立命館校友会大会2018 in 仙台」でフィナーレを迎えます。

ぜひこの機会に、北海道・東北の祭り・食・お酒を堪能しながら、
旧友との再会、母校立命館や現役学生との新たな出会いをお楽しみください!!

日時 2018年10月20日[土] 10:00-18:30 会場 仙台国際センター

“祭・食・酒”

北海道・東北の祭りや
選び抜かれたおいしい食材・郷土料理、
お酒(地酒・地ビール他)、
お米(地産米食べ比べ)等、盛りだくさん!!



2017年校友大会「酒の陣」

TIME SCHEDULE

- 10:15-12:45 東日本大震災復興支援企画
- 11:45-13:15 若手校友企画
- 13:30-14:45 アカデミック企画
- 15:00-16:15 女性校友企画
- 16:30-18:30 総会・懇親会

①②は一部のプログラムについて同時間の開催になります。

アカデミック企画

狂言「みんなでお腹の底から笑いましょう！」

茂山千五郎氏、茂山逸平氏、松本薫氏、他2名
京都を拠点にする能楽師狂言方大蔵流の茂山千五郎家一門による狂言。

※狂言：日本芸能のひとつ。猿楽の滑稽な部分を劇化した喜劇。



文学部創設90周年・文学部校友会設立10周年 懇親会での公演

若手校友企画

「北海道・東北のご当地鍋パーティー&リアル脱出ゲーム」開催予定!

東日本大震災復興支援企画

防災シンポジウム「1000年に1度をわがことに」

校友をはじめとした立命館関係者によるシンポジウム

コーディネーター

大泉 大介氏('95国関)
河北新報社
防災・教育室記者、論説委員



パネリスト

久保田 崇氏
立命館災害復興支援室副室長兼公務研究科教授/
元・岩手県陸前高田市副市長

佐々木 靖子氏('76文)
宮城県校友会副会長/「ささ主」専務取締役

村田恭一氏('81法)
元・福島県相馬市小学校教員

西崎 芽衣氏('17産社)
一般社団法人 ならはみらい職員

女性校友企画

「五感で楽しむ」をテーマに、北海道・東北の魅力を満喫いただきます!

企画名称・内容・時間等が変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

参加申込について

北海道・東北にお住まいの校友
3月中旬から他地域に先行して申込受付を開始いたします。
各都道府県校友会窓口(P14-15)にお問い合わせください。

北海道・東北以外にお住まいの校友
6月中旬から校友会ホームページにて
申込受付開始の予定です。



3.11 復興への願い

全国校友会総会キャラバンを終えて

立命館大学校友会では2011年度より復興支援事業に取り組んできました。

今回は、東北3県校友会(岩手県、宮城県、福島県)の方より、支援くださった全国の校友の方々に向けて、直接、
復興支援の事業報告および広報(東北応援ツアー、オール立命館校友会大会2018 in 仙台)を行うことを目的に、
全国校友会総会キャラバン(2017年度)を実施しました。以下、総会キャラバンに参加した東北3県校友会参加者からの報告です。

Report 01

宮城県校友会会長
大沼 久明さん
('62法)



Report 02

岩手県校友会会長
菊池 宏さん
('65文)



Report 03

福島県校友会副会長
三村 智春さん
('85産社)



総会キャラバンの一環として岡山県校友会総会に参加しました。地元校友はもとより香川県、広島県東部、大学、校友会本部など来賓関係者を含め総勢160名の盛大な会でした。冒頭、1000年に一度の大震災といわれる東日本大震災発生直後から全国校友のみなさまより寄せられた継続的復興支援事業への感謝を述べ、続いて宮城・福島・岩手3県の死者は約16,000名、行方不明者約2,000名の現状を伝えました。地方校友大会の掉尾を飾る「オール立命館校友会大会2018 in 仙台」では、北海道・東北の魅力が詰まった企画を考えています。10月20日(土)はぜひ、杜の都仙台へお越しください。



8月26日(土)岡山県校友会総会にて

2017年9月2日(土)に開催された大阪校友会総会「校友の集い2017」に出席してきました。村上会長、森島理事長をはじめ多数の来賓の方々と300名を超える校友の出席のもと、総会・懇親会がにぎやかに行われました。会の途中で、東北3県校友会を代表して東日本大震災に対する支援と東北応援ツアーへの参加に深く感謝し、2018年10月仙台市で開催される全国校友大会への参加と、復興途上の被災地を訪ねてくださるようお願いをして大きな拍手をいただきました。仙台でみなさまとお目にかかれるのを心待ちにしております。



9月2日(土)大阪校友会総会にて

2017年11月、石川県校友会総会に参加させていただき、みなさまから温かい歓迎を受けました。そして、東日本大震災時に全国の校友のみなさまからいただいたご支援に対し、御礼を述べさせていただきました。また仙台で開催される全国校友大会については「震災から東北が復興している姿をぜひご覧ください。そして東北各県の校友と交流してください」とお願いしました。懇親で盛り上がっている最中でしたが歓談を中断し、姿勢を正して耳を傾けてくださったことに、とても感激しました。仙台で全国の校友のみなさまとお会いできることを楽しみにしております。



11月25日(土)石川県校友会総会にて

■全国校友会総会キャラバン実施日程

総会	開催日	開催場所	参加した校友会(東北3県)
滋賀県校友会	2017年6月24日(土)	びわ湖大津プリンスホテル	岩手県校友会
岡山県校友会	8月26日(土)	アークホテル岡山	宮城県校友会
熊本県校友会	8月26日(土)	鶴屋百貨店カーネーションサロン	福島県校友会
大阪校友会	9月2日(土)	太閤園	岩手県校友会
新潟県校友会	9月9日(土)	アートホテル新潟駅前	福島県校友会
福岡県校友会	11月18日(土)	ソラリア西鉄ホテル	宮城県校友会
愛知県校友会	11月18日(土)	名鉄グランドホテル	岩手県校友会
石川県校友会	11月25日(土)	金沢ニューグランドホテル	福島県校友会
東京校友会	2018年2月18日(日)	明治記念館新館	宮城県校友会



「校友会未来人財育成基金」から生まれた「+R 校友会未来人財育成奨学金」が、学生の学びのフィールドを広げています。

「校友会未来人財育成基金」は「+R 校友会未来人財育成奨学金」として学生の学びを直接的に支援しています。現在、グローバルな学びへの踏み出しを支援する「海外留学支援」、自らの学びを地域社会貢献などに飛躍させることを支援する「成長支援」があります。今回は、これらの支援を受けた学生を紹介します。

+ R 校友会未来人財育成奨学金 海外留学支援

Case 1 ベトナムコース

知らない世界に触れ、挑戦することのすばらしさ

スポーツ健康科学部1回生 内藤 ゆうかさん（福岡県）

私は高校生のころ海外研修に参加したくて応募を考えたのですが、金銭的な理由で断念した経験があり、大学生になったら必ず海外研修に挑戦したいと思っていました。入学後、留学のガイダンスなどに積極的に参加し、未来人財育成基金を知り、すぐに応募することを決めました。現地では、バディ*と英語を使って計画を立て、ベトナムの食文化についての調査を行いました。英語をうまく話せるほうではないですが、自分から積極的に話してみることで現地の方とコミュニケーションを



内藤 ゆうかさん（左下）

取ることができ、一生の思い出となりました。このプログラムに参加するまで海外に行ったことがなく、不安を感じることも多くありましたが、自分の知らない世界に触れ、挑戦することのすばらしさを学びました。これからの学生生活も、さまざまなことに挑戦して自分を成長させていきます。



Case 2 マレーシアコース

考えるだけではなく、行動を起こすこと

理工学部2回生 井原 優希さん（愛知県）

私がこのプログラムへ応募するにあたって、未来人財育成基金が大きなきっかけとなりました。海外に興味はあったものの、留学には多くの費用を要するイメージがあっ



マレーシアにあるモスク

てなかなか踏み出せずにいましたが、この制度のおかげで応募することができました。活動を通して学んだことは、既に知識として知っていることでも、実際に自分で体験することの大切さです。例えば、日本との文化の違いです。文化が違うのは当たり前だという知識があっても、その実像は、自分の想像していたものと大きく異なりました。また、私のつたない英語に必死に耳を傾けてくれたバディ*をはじめ、現地の方々のすばらしい人柄に触れられたことも良い思い出となりました。今回の経験を通じて、普段の生活の中でも、頭の中で考えるだけではなく、行動を起こすことが重要だと気付くことができました。



※バディ=現地受け入れ大学の学生

+ R 校友会未来人財育成奨学金 成長支援

事故から子どもたちを守るために—自転車のブレーキアシストの開発—

生命科学部4回生 上田 隼也さん（熊本県）

僕は子どもの自転車事故をなくすことを目的とした自転車のブレーキアシストシステムの開発をしています。このアイデアは、昨年度、立命館大学EDGE+R（イノベーション・アーキテクト養成プログラム）を受講し、その活動の中から出てきたものです。実際に企業から製品を提供していただき、大学の先生方からアドバイスを受けながらより早く社会実装できるように取り組んでいます。

自ら社会へ飛び込んで学ぶ

現在、開発しようと考えているアイデアを早く社会に普及させるためにさまざまなベンチャーコンテストに応募してきました。プランのリサーチ不足や事業として難しいことを企業の方や投資家の方から直接指摘され、最初は戸惑いの連続でしたが、メンバーと協力し、今のプランに仕上げたことが一番の思い出です。

メンバーへの信頼が活動を支えた

活動を通じて、どのような状況（特に成果等が出ない場合）においても、自分を信じ、一緒に取り組むメンバーを信じ続けることで、望むような結果がついてくるということを実感しました。また、専門分野の異なる学生で集まり、密に議論することで社会をより良くするイノベーションを起こすことができました。



第2回ドコモ近未来社会学生コンテストで奨励賞を受賞



コンテストでのプレゼンテーションの様子



ブレーキアシストシステムの開発中

募集要項

■ 寄付の金額

(1)個人・団体（校友会などの任意団体）の場合
ひと口1,000円からご支援いただけます（一括寄付と継続寄付[毎月・年2回・毎年]のどちらも可能です）。
(2)法人の場合
ひと口の金額は特に定めておりません。

■ 募集期間

期間に定めはありません。

■ 寄付の目標

継続寄付者3,000名・累計10億円。
（2012年～2020年3月31日）

■ 活用プラン

海外留学支援、成長支援、課外活動支援、研究支援、施設整備支援。

■ 税制上の優遇措置について

本寄付は立命館大学に対する寄付金であり、税制上の優遇措置を受けることができます。

申込方法

① WEBで申し込む

立命館大学校友会のホームページよりお申し込みください。簡単な手続きで完了いたします。クレジットカードにてご寄付いただけます。



携帯電話からのアクセスはこちら！
<http://gift2r.info>
※一部機種によってはご覧いただけない場合がございます。

② 書面で申し込む

校友会事務局に資料をご請求ください。銀行振込・口座振替・現金にてご寄付いただけます。

お問合せ先（受付時間 土日祝を除く 9:30～17:00）

校友会未来人財育成基金に関しては



立命館大学校友会事務局
075-813-8216

寄付の受入れ、税制上の優遇措置に関しては



立命館 総務部 寄付事務局
075-813-8110



volume 08

学部・学系校友会の歩み

出身学部や学科への帰属意識から育まれていく母校愛。
学部・学系校友会は校友ネットワークの発展に欠かせない組織だ。

■理工学部の沿革を伝える相訪会

相訪会は理工系学部の校友組織の先駆けといえる存在で、始まりは理工学部の前身である立命館高等工科学学校(1938年北大路学舎に設立、翌年立命館日満高等工科学学校に改称し衣笠に移転)の時代に遡る。電気工学講習所を継承して立命館高等工科学学校が設立された折に、電気工学講習所の同窓会も継承され、相訪会へと名称を改めた。日満高等工科学学校は1942年に立命館大学専門学部工学科に昇格し、1949年には新制理工学部として再出発するが、その卒業生は立命館大学校友会ではなく相訪会の会員となった。

1951年に立命館大学校友会会則が改正され、会員として新たに「立命館日満高等工科学学校及びその前身である電気工学講習所の卒業生」が明記された後も、相訪会は存続し、1960年頃までは就職幹旋や名簿の発行など活発な動きを見せていたことがわかっている。数物会、立命電友会、機友会、建設会、立命化友会、情報会と学系別の同窓会が活発な現在において、相訪会を知る人は少なくなりつつあるものの、理工学部のびわこ・くさつキャンパスへの拡充移転を記念して衣笠キャンパスに建てられた「立命館大学理工学部発祥の地」の碑には、理工学部校友の会として、相訪会の名が刻まれている。



日満高等工科学学校第2回卒業式



1993年、相訪会による建碑

■学部単位の校友会結成

戦前戦後を通して、卒業年次や学科単位で集う校友グループは数多く存在した。校友会本部への登録が呼びかけられるようになった1960年代後半から、こうした校友グループ結成の動きはさらに広がり、やがて学部単位の校友会の結成を促していく。

学部単位での発足第一号となったのは、産業社会学部校友会。産業社会学部創設20周年を機に、1984年に結成された。1990年代に入ってから他の既存学部でも結成が進み、また新たな学部が誕生する度に、校友組織が整備されるようになる。早くから学科ごとの同窓会が活発であった理工学部でも、各同窓会の連合・協議体である理工学部同窓会連絡協議会(後に理工系同窓会連絡協議会と改称)が2000年に設立されている。

■21の個性と本部との連携

現在、学部・学系校友会として活動する校友組織は21。校友同士の親睦を図るだけでなく、学部での学びを発展させた勉強会や講演会、後輩支援のための模擬面接やキャリア相談会など、取り組む事業はさまざま。地方支部を有する同窓会では、各地の都道府県校友会との間に有機的な関係を築いてきており、2013年度に各学部・学系校友会の会長が校友会本部の幹事として選任されることが決まってからは、その連携はますます強まった。母校の規模の拡大とともに、校友数も増加する中、学生時代の思い出を共有し、旧交を温め合うことのできる学部・学系校友会。その求心力は、校友会全体の発展につながっている。



行事報告

2017年11月上旬～2018年2月上旬に行われた各団体の行事の一部を紹介しています。
*詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<http://alumni.ritsumei.jp>

都道府県校友会 / 海外校友会

11/10 鳥取県東部校友会 総会

50名 ホテルモナーク鳥取



11/10 山口県校友会 総会

65名 湯田温泉ユウベルホテル松政



11/11 埼玉県校友会 総会

46名 越谷コミュニティセンター



11/11 宇部小野田校友会 総会

35名 国際ホテル宇部



11/11 大分県校友会 総会

74名 大分センチュリーホテル



11/18 千葉県校友会 総会

70名 京葉銀行文化プラザ



11/18 富山県校友会 総会

40名 パレブラン高志会館



11/18 愛知県校友会 イヤーズミーティング

340名 名鉄グランドホテル



11/18 鳥取県西部校友会 総会

19名 ホテルハーベストイン米子



11/18 広島県東部校友会 総会

59名 オステリア・ラ・フォンテ



11/18 オール立命館 福岡県校友のつどい

230名 ソラリア西鉄ホテル



11/18 佐賀県校友会 総会

36名 ホテルニューオータニ佐賀



11/18 鹿児島県校友会 総会

32名 鹿児島東急REIホテル



11/25 石川県校友会 総会

144名 金沢ニューグランドホテル



11/25 オール立命「校友のつどい」 in 北九州

90名 リーガロイヤルホテル小倉



12/2 栃木県校友会 総会

28名 ホテルマイステイズ宇都宮



1/27 北海道校友会 総会

100名 ホテルライフオート札幌



NEWS!

100周年応援隊に 倉木麻衣さんが 就任しました!

第一線で活躍する歌手でありながら、音楽と並行してさまざまな社会活動に取り組み、産業社会学部客員准教授として母校の教壇にも立つ倉木麻衣さん。この度、校友会設立100周年応援隊の一員に加わっていただきました。倉木さんからのメッセージは、特設サイトからご覧ください。

検索 立命館 校友会 100周年



校友会設立100周年応援隊
倉木麻衣さん('05産社)





地域校友会

11/11

岩手県校友会 第4回沿岸校友会

13名 大船渡温泉



11/17

京丹後支部校友会 総会

39名 山陰海岸国立公園・丹後浜詰夕日ヶ浦温泉「佳松苑」



11/19

兵庫県淡路支部 総会

30名 休暇村 南淡路



11/25

広島県西部地区校友会 総会

20名 宮島コラルホテル



1/29

函館同窓会 総会

8名 ホテル函館ロイヤル



学部・学系校友会

11/18

文学部創設90周年・文学部校友会設立10周年記念行事

400名 京都ホテルオークラ



職域校友会

11/18

証券研究会OB会 総会

29名 京都ガーデンパレス



11/28

尼崎市役所比叡会 総会

30名 都ホテルニューアルカイツク



12/2

みずほフィナンシャルグループ立命館大学OBOG会(アショカ会)

56名 アショカ京都店



12/18

石川県庁立命会 懇親会

39名 金沢ニューグランドホテル



1/18

立命館国会の会 設立総会

20名 都市センターホテル



1/27

北朋会 総会

20名 ホテルライフオート札幌



2/9

三菱東京UFJ銀行 立命館大学OBOG会 総会

63名 大東洋



その他の校友会グループ

11/23

衣笠寮・寮友会

10名 京都タワーホテル



2/10

体育会歓送会

770名 ホテルグランヴィア京都



立命館大学奈良県ファミリー会が開催

TOPICS

2月4日、奈良市内にて「第1回立命館大学奈良県ファミリー会」が開催され、校友・父母・学生の約200名が一堂に会しました。第1部の「就活応援セミナー」では、立命館大学キャリアセンターから就職支援について、南都銀行立命会と奈良県在勤の若手校友から、昨今の就活状況や就活体験について報告がありました。個別相談会後の奈良県校友会・父母教育後援会合同開催「立春会(新春の集い)」では、校友・父母・学生の垣根を越え、活発な情報交換が行われました。また、アメリカンフットボール部「PANTHERS」で活躍する現役学生から学生生活の紹介や今後の活躍へ向けた抱負が語られ、終了後には、多くの父母・学生からファミリー会開催への感謝の声が聞かれました。

富士山女子駅伝で
5連覇達成！

TOPICS

2017年12月30日、静岡県にて「全日本大学女子選抜駅伝競走」が開催され、女子陸上競技部が優勝、5連覇を達成しました。沿道では静岡県校友会をはじめとする全国から集まった校友、静岡県を中心とした父母や大学関係者がのぼりを立て、手旗を振って応援しました。



写真提供／月刊陸上競技

就職活動応援企画
「メントレ」を開催

TOPICS

経済学部では経済学部同窓会の後援を受け、今回で5回目となる就職活動応援企画「メントレ」を1月6日・7日に開催。就職活動を控えた3回生120名を対象に経済学部の校友約120名が2日間にわたって、模擬面接やエントリーシートの作成の指導を行いました。



今後の行事予定

2018年4月～2018年7月に予定されている
総会等です(判明分)*詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<http://alumni.ritsumei.jp>

校友会・グループ	日程	会場	問い合わせ先	
立命寄席	4/21(土) 18:30	天満天神繁昌亭	校友会事務局	075-813-8216
愛知県校友会東三河会 総会	4/21(土)	ホテルアソシア豊橋	小林 弘和	090-4792-3511
南都銀行立命会 総会	5/18(金) 19:00	榎原神宮養正殿	田口 育宏	0742-27-1564
奈良県北部校友会 総会	5/20(日) 16:00	ホテル日航奈良	寺田 惇	090-5971-9752
東北海道校友会 総会	5/26(土) 18:00	ホテル日航ノースランド帯広	菊池 貞雄	090-6447-2969
ウリ同窓会 総会	6/2(土) 17:00	東華菜館	白 吉雲	075-321-3355
三重県校友会 総会	6/9(土) 15:00	四日市都ホテル	山川 和俊	0596-28-5509
奈良県校友会 総会	6/9(土) 16:00予定	奈良ロイヤルホテル	門脇 由幸	0744-43-1918
山梨県校友会 総会	6/23(土)	アーバンヴィラ古名屋ホテル	久保田 忠行	055-227-5136
滋賀県校友会 総会	6/30(土)	びわ湖大津プリンスホテル	坂田 耕治	077-521-2379
岩手県校友会 総会	7/7(土)	ホテルニューカリーナ	酒井 博忠	019-654-3893
和歌山県校友会 総会	7/7(土) 12:00	ダイワロイネットホテル和歌山	和田 好史	073-432-7039
香川県校友会 総会	7/7(土) 16:00	ホテルパールガーデン	穴吹 学	087-862-3565
高知県校友会 総会	7/14(土) 17:30	ホテル日航高知旭ロイヤル	千蒲 悦嗣	090-1322-5381
宮城県校友会 総会	7/21(土)	ホテル法華クラブ仙台	柏原 晋	022-286-9928
神奈川県校友会 総会	7/21(土)	崎陽軒本店	山田 和久	046-267-3332
岐阜県校友会 総会	7/21(土) 16:00	ホテルグランヴェール岐山	(株)大垣麵房内	0584-74-3036
青森県校友会 総会	7/28(土) 15:00	ウェディングプラザアラスカ	船水 重利	017-722-2926
徳島県校友会 総会	7/28(土)	阿波観光ホテル	鎌田 啓三	088-664-2344

SPORTS

スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
077-561-3977

※掲載中の所属・回生などは開催時点のもの

✓ ホッケー部（女子）

「第39回女子全日本
学生ホッケー選手権大会」優勝

11月8～12日、「第39回女子全日本学生ホッケー選手権大会」が行われ、ホッケー部（女子）が優勝を果たしました。決勝の天理大学戦は、シュートアウト戦（ゴールキーパーと1対1で対決）にもつれ込んだ末、7人目で決着をつけて勝利しました。7月の大学王座決定戦の決勝で敗れた雪辱を果たし、2年ぶり4回目の栄冠を手に入れました。



🐾 アメリカンフットボール部

甲子園ボウル出場ならず
～全日本大学アメリカンフットボール
選手権西日本代表校決定戦～

12月3日、万博記念競技場（大阪府）で「全日本大学アメリカンフットボール選手権西日本代表校決定戦」が行われ、アメリカンフットボール部パンサーズは関西学院大学ファイターズに3対34で敗れ、2年ぶりの甲子園ボウル出場を果たすことができませんでした。今年度、選手たちは関西学生リーグチャンピオン、全日本学生チャンピオンの座を奪回すべく戦っていましたが、残念ながら全日本学生チャンピオンになることはできませんでした。4回生の意思を受け継いだ新チームがこの雪辱を果たすべく、来シーズンに挑みます。



アフロスポーツ提供

🏀 男子陸上競技部/女子陸上競技部

「第84回京都学生駅伝競走大会」優勝

12月3日、京都市で「第84回京都学生駅伝競走大会」が行われ、男子陸上競技部は4年ぶり29度目の優勝を果たしました。2区の高畑祐樹選手（経済2）がトップと16秒差の2位でたすきを受け、中継地点でトップとの差1秒に迫り3区へ。3区の辻村公佑選手（経済3）がトップに立ち、2位に1分56秒の大差をつけての快勝で今季の駅伝シーズンを締めくくりました。

2017富士山女子駅伝で大会5連覇を達成

12月30日、静岡県富士山麓で行われた「2017全日本大学女子選抜駅伝競走（富士山女子駅伝）」で、女子陸上競技部が優勝し、見事5連覇を達成しました。10月に仙台で行われた全日本大学女子駅伝（杜の都駅伝）では昨年の雪辱を狙うも3位に終わり、富士山女子駅伝で達成した大会5連覇で改めて「女王・立命館大学」を示した形となりました。



ゴールテープを切る真部亜樹選手（スポ健2）月刊陸上競技提供

CULTURE/ART

文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

※掲載中の所属・回生などは開催時点のもの

🏹 バントワリング部

「第45回バントワリング全国大会」
大学編成部門で最優秀賞・ゴールド獲得

12月9日、幕張メッセ（千葉県）で「第45回バントワリング全国大会」が行われ、バントワリング部が大学編成部門において最優秀賞・ゴールドに輝きました。部の再建から約2年の月日を経て再び立つことのできた全国の舞台で、華やかにそして力強く舞い、会場は盛大な拍手に包まれました。鉄製の棒

を身体の一部のように操り、音楽に合わせて踊るバントワリングの演技は、正確さ、スピード、リズムなどさまざまな評価基準があり、バトンを落としたりすると減点されます。この日の演技ではバトンを落とす場面はあったものの、高い技術で繰り出されるバントスキルを次々と披露。昨年の全国大会へ進めなかった悔しさを力に変え、質の高い演技を披露しました。



🎵 交響楽団

「第118回定期演奏会～広島公演～」開催

12月17日、広島国際会議場フェニックスホール（広島県）にて、交響楽団が創立以来はじめてとなる中国地方、広島での演奏会「第118回定期演奏会～広島公演～」を開催しました。指揮者にドイツのレーゲンスブルク歌劇場で音楽総監督を務め、2004年からは立命館大学交響楽団のオーケストラドヴァイザーである阪哲朗氏を迎えたほか、客演としてイギリスで活躍するピアニスト、森麻衣子氏（立命館慶祥高校出身）と協演し、631名の観客を魅了しました。



🏠 将棋研究会

12月26日、三重北勢地域地場産業振興センター（三重県）で「第47回全日本学生将棋王座戦」が行われ、将棋研究会は大会2連覇を達成しました。2017年は新チーム発足以降、団体戦無敗という快挙を達成し、選手

層の厚さを示す形となりました。



🏰 囲碁研究部

12月26日、日本棋院本院（東京都）で「第61回全日本大学囲碁選手権」が行われ、囲碁研究部が昨年準優勝の悔しさをバネにチームが一丸となって対局に挑み、2年ぶり7度目の優勝を果たしました。



🌸 応援団吹奏楽部

「第54回定期演奏会」を開催

1月14日、門真市民文化会館ルミエールホール（大阪府）にて、応援団吹奏楽部が「第54回定期演奏会」を開催しました。前売り券が完売するなど、開催前から注目された演奏会は、ジャズやクラシック、吹奏楽曲など全3部構成で、観客を魅了しました。



CAMPUS ACTIVITIES 学生活動

問い合わせ先：広報課
075-813-8146

※掲載中の所属・回生などは開催時点のもの

「R&D (Ritsumeikan&docomo)
プロジェクト in 茨木」を実施

本学、茨木市、およびNTTドコモ関西支社（以下、ドコモ）は、茨木市の地域活性化に向けた

課題解決プロジェクト「R&D (Ritsumeikan & docomo) プロジェクト in 茨木」を、2017年10月から2018年1月にかけて実施しました。本プロジェクトは、経営学部の学生が、茨木市における社会課題を見つけ出し、ドコモが提供するサービスを活用しながら課題解決に向けた提案を市に行う、産官学連携の取り組みです。参加した経営学部の学生（約25名）は、専門科目「専門演習（ゼミ）」のPBL（Project Based Learning）の高度な実践により、経営学の理論と実践、双方の理解を深めながら、アイデア発想、仮説の検証、実践活動を基に、中間発表と成果発表を、茨木市役所にて行いました。

2018年春Beyond Borders Plaza
開設に向けたブレ企画を開催

本学は、学生間の国際交流・海外留学支援・語学学修支援を促進するための新たな空間として、Beyond Borders Plaza（以下、BBP）を2018年春に各キャンパスに開設します。BBP開設に先駆け、12月11日、大阪いばらきキャンパスにて「踏み出せ Beyond Borders Plaza」と題し、グローバルに活躍する・挑戦することとは何か、さまざまな垣根を越えて、学生どうしが交流し学び合うとは何かを、ゲストスピーカーの方の講演を踏まえながら、学生と共に考える企画を行いました。

体育会本部が滋賀県から感謝状を授与

12月18日、大量繁茂が問題となっているオオバナミズキンバイ等の外来水草の駆除に尽力したとして、立命館大学体育会本部は滋賀県から感謝状を授与されました。

体育会本部は、2017年8月、オオバナミズキンバイ等の駆除作業には多大な労力と体力を要することを知り、学生約1,150名で大規模な駆除活動を行いました。その学生らの若さや体力といった強みを活かした地域の環境課題の解決に取り組んだ功績が認められた形となりました。贈呈式後の懇談会では、今後もさまざまなことに対して滋賀県と立命館

大学の学生らが協力しながら課題解決に取り組めればなど、今後の連携協力に関することも話題にあがりました。

カナダ・バンクーバーのプリティッシュ・
コロンビア大学にて成人式を開催

カナダ時間の1月7日、立命館・UBC・アカデミック・イマージョンプログラムとしてカナダ・バンクーバーにあるプリティッシュ・コロンビア大学（UBC）に留学中の本学の学生が、成人式を開催しました。本留学プログラムは1995年に開始され、今年は27年目（27期生）にあたります。この成人式は、カナダに留学中のため日本での成人式に参加できない本プログラム参加学生らが、留学先のUBCにおいて自主企画として伝統的に開催しているもので、今年は、新成人となる約60名が出席しました。本学は1991年よりUBCとの間で留学プログラムを実施しており、これまでに留学に2,000名を超える学生が参加しています。



福井県小浜市と 食教育プログラム実施のための 連携協力に関する協定を締結

本学は11月14日、福井県小浜市と、4月にびわこ・くさつキャンパスに開設する「食マネジメント学部」における食科学分野の発展および教育・研究活動の推進を目的とした連携協力に関する協定を締結しました。具体的には、小浜市をフィールドに、①小浜市における食のまちづくりの推進、②食文化をテーマにした、課題発見・解決型学習などの実践的な学習の展開、③政策に関する共同研究などをともに実施していく予定です。



吉田美喜夫学長（左）と松崎晃治小浜市長（右）

甲賀市と連携・協力に関する 包括協定を締結

本学は11月20日、滋賀県甲賀市と、これまで教育研究にかかわる個別の取り組みを通して築いてきた相互の協力関係を踏まえ、さらなる連携・協力を進め、地域社会の発展に寄与することを目的として、包括協定を締結しました。本学と甲賀市とは、これまでびわこ・くさつキャンパス各学部の教員を中心に、個別の取り組みで連携してきましたが、今後は、4月に開設する食マネジメント学部も含め、より一層包括的かつ組織的に連携・協力を推進していきます。



岩永裕貴甲賀市長（左）と吉田美喜夫学長（右）

「第15回天野和夫賞」授与式を举行

11月17日、衣笠キャンパスで「第15回天野和夫賞」授与式を举行しました。天野和夫賞は、天野和夫元立命館総長・学長のご令室である天野芳子氏からのご寄附にもとづき、本学大学院修了者および法の基礎理論に関わる若手研究者の中から特に優れた業績をあげた方を表彰し、その研究を奨励することを目的として、2003年2月に制定されました。

【第15回（2017年度）天野和夫賞 受賞者】

●市川 啓 氏

卓越した研究成果をもって本学大学院法学研究科において課程博士の学位を取得した者
博士論文
「間接正犯概念の淵源およびその発展に関する歴史的考察―目的なき・身分なき故意ある道具を素材に―」

●知名 春香 氏

特に優れた成績をもって本学大学院法学研究科において修士の学位を取得した者
修士論文
「複合契約の法的構造の解明―「契約の目的」の視点から―」

●中谷 惣 氏

法の基礎理論研究において優れた研究をもって学界に貢献した者
著書
『訴える人びと―イタリア中世都市の司法と政治―』（名古屋大学出版会、2016.11）



キャリア形成支援を通じた グローバル人材養成プログラム PBL成果報告会を開催

11月25日、大阪いばらきキャンパスで「2017年度立命館大学キャリア形成支援を通じたグローバル人材養成プログラムPBL成果発表会」を開催しました。成果発表会は、プログラムに参加する学生40名と、テーマを提供する企業5社を含む40社が参加しました。学生は半年かけて企業が現在抱えている経営課題に対して解決策を考え、学生視点とビジネス視点を融合した提案を企業に向けて発表しました。



アシックスジャパン株式会社と 包括的連携交流協定を締結

本学は11月28日、アシックスジャパン株式会社と、スポーツを通じた地域社会、教育研究、国際社会の発展を目的とし、スポーツの大衆化や研究・開発、スポーツを通じて未来を支える人材育成に向けた連携・協力をすすめるための包括的連携交流協定を締結しました。今後は、健康増進のためのスポーツ大衆化プログラムの推進やアスリート育成に必要な支援システムなどの研究協力、スポーツをテーマにしたシンポジウムなどを実施するほか、学生・生徒参画型の商品開発、校章の入ったスポーツ用品の販売などを行う予定です。



衣笠キャンパス存心館食堂、 学生会館1、2階が リニューアルオープン

衣笠キャンパスの存心館食堂、学生会館1・2階がリニューアルオープンしました。存心館食堂（通称ぞんち）は、1981年のオープン以来はじめての全面改装を行いました。また、学生会館内のカフェも、ドイツ語のJUNGE（若者）に由来する店舗名を継承し、学生から親しまれる憩いの空間としてリニューアルしました。



「第9回立命館 地球環境委員会シンポジウム ―持続可能な環境と健康―」を開催

12月5日、びわこ・くさつキャンパスローム記念館にて、第9回立命館地球環境委員会シンポジウムを開催しました。サステナビリティについて考えるにあたり、今回は「健康」という視点に着目し、シンポジウムのテーマを「持続可能な環境と健康」としました。シンポジウムは学内外より63名の参加があり、「環境について、自分たちの身近な問題として捉え直すことができた」「地球環境委員会の取り組みが多くの人に認知され、広まっていくことを期待しています」といった声が聞かれました。



西浦敬信・情報理工学部教授の 研究成果が成田国際空港で展示

12月1～25日にかけて、西浦敬信・情報理工学部教授の研究成果が成田国際空港で特別展示されました。これは、成田国際空港第2ターミナルに設置されているクリスマスツリー周囲の特定の空間でだけクリスマスソングが聞こえてくるという、体験型の展示となっています。パラメトリックスピーカーには指向性があり、スピーカーから放射された音波は直進して受聴者に届きます。その特性を利用し、映像のプロジェクションマッピングのようにツリーに指向性のある音を反射させることで、ある特定の場所でのみ音が聞こえる環境を実現しました。空港では、飛行機の発着等のアナウンスをかき消すような音量の音楽を流せないという事情がありますが、西浦教授の技術を用いることにより、アナウンスを聞き逃すことなくクリスマスソングも聴くことができ、クリスマス気分を盛り上げていました。



電磁波・無線給電で 超小型ウェアラブルデバイスの 駆動に成功 ～光るつけまつげで実証～

道関隆国・理工学部教授は、ウェアラブルデバイス用の無線送電手法として、受電機との距離に応じて送電電力を制御する電力制御付き送電機を開発しました。また、株式会社資生堂との共同研究により、レクテナ、LED、光ファイバーが一体化した超小型受電機をつけまつげに取り付け、電池や配線なしで1.5 m離

れた場所から点灯させることを実証しました。



超小型受電機付
光るつけまつげ

2018年度 春期開講講座のご案内					
講座名	講座紹介		回数・開催日	会場	講師
おとなの 学び舎 2018年 春期	教養をさらに深めたい!大学の学びをもう一度体験したい!という社会人のニーズに応える教養講座。講師は立命館大学の教員を中心に多彩な講座を展開しています。 詳細内容、日程は3月上旬に発行予定の募集案内をご覧ください。 資料請求、お問い合わせは立命館アカデミックセンター事務局(電話 06-6360-4804、メールacr02@st.ritsumeit.ac.jp)まで。 窓口時間: 月～金 10:00～17:00 立命館アカデミックセンターホームページ: http://www.ritsumeit.ac.jp/acr/	「食」から読み解くヨーロッパの歴史	① 4/13 (金) ② 5/11 (金) ③ 6/1 (金)	立命館 大阪梅田 キャンパス	南 直人 京都橋大学文学部教授
		宰相の系譜 ～近代日本の「かたち」を築いた政治家たちの面影～	① 4/17 (火) ② 5/15 (火) ③ 6/19 (火)		鶴養 幸雄 立命館大学大学院公務研究科教授
		現代世界におけるイスラームを考える	① 4/18 (水) ② 5/16 (水) ③ 6/20 (水)		末近 浩太 立命館大学国際関係学部教授
		海を渡った「きもの」文化	① 4/19 (木) ② 5/17 (木) ③ 6/21 (木)		鈴木 桂子 立命館大学衣笠総合研究機構教授
		争乱と異変と日本古代史	① 4/20 (金) ② 5/18 (金) ③ 6/15 (金)		本郷 真紹 立命館大学文学部教授
		『論語』を読む	① 4/26 (木) ② 5/24 (木) ③ 6/28 (木)		加地 伸行 立命館大学白川静東洋文字文化研究所研究顧問
		都市の在り方—大阪の曲り角	① 4/27 (金) ② 6/22 (金) ③ 8/24 (金)		木津川 計 上方芸能評論家・立命館大学名誉教授
		日本の「道」(どう)を考える—宗教・文化・スポーツを通して	① 5/8 (火) ② 7/10 (火) ③ 9/11 (火)		安斎 育郎 立命館大学名誉教授
		一気通貫!日本史講座 ～「学校日本史」はどのように教えられて来たか～	① 6/8 (金)		高杉 巴彦 池坊短期大学学長
税法公開講座	高齢社会の税務と税務(仮題) 税理士、公認会計士、企業法務担当者などを対象に税務・法務の最新動向を紹介。実務に直結する講座です。 詳細内容は4月に発行予定の募集要項をご覧ください。 資料請求、お問い合わせは立命館アカデミックセンター事務局まで。 電話:06-6360-4804 メール:acr02@st.ritsumeit.ac.jp ホームページ: http://www.ritsumeit.ac.jp/acr/		全5回程度／ 5～9月開催予定	大阪大学・立命館大学文学部教員ほか	望月 爾 立命館大学法学部教授 岸本雄次郎 立命館大学大学院法学研究科教授 本山敦 立命館大学法学部教授 ほか
	安全で美味しい、野菜がよく育つ、有機土壌を学ぼう!家庭菜園、週末農業に関心のある方、必見です!詳しい情報や受講をご希望の方は南海電鉄・くらし菜園ホームページ (http://kurashi-saien.com/) をご覧いただきお申込み下さい。 ※本セミナーは南海電気鉄道株式会社との共催事業です		全1回／3/24(土)		久保 幹 立命館大学生命科学部教授 ほか
食品安全 HACCP 責任者 養成研修	食品衛生について今後ニーズがさらに高まることが見込まれる「HACCP」と「PCQI」。本講座は3日間連続の集中講義でそれぞれの資格認定研修を行います。詳しくは、立命館アカデミックセンターホームページ、またはロイドレジスタージャパン株式会社ホームページ (https://lloyds-register.co.jp/) をご覧ください。 ※本セミナーはロイドレジスタージャパン株式会社との共催事業です。		各期3回／ 4/24-26、8/21-23、12月 ※12月開催分については9月頃に日程が決定します。	立命館東京 キャンパス	今城 敏 ロイドレジスタージャパン株式会社 技術支援部門食品事業部長
食品安全 予防管理適格者 PCQI 養成研修			各期3回／ 6/5-7、10月、2019年2月 ※10月、2019年2月開催分については9月頃に日程が決定します。		
書と字の講座	立命館大学校友の華雪氏を講師に迎え、一字一字にそれぞれの物語を持つ漢字について、その成り立ちや由来を学び、実際に書くことを通して、漢字についてより深く学ぶことを目的とした講座です。	詳しくは東京キャンパスまでお問い合わせ下さい。 立命館東京キャンパス(サピアタワー8階) TEL: 03-5224-8188 http://www.ritsumeit.ac.jp/tokyocampus/course_guide/	全6回程度／ 5～6月開催予定	立命館東京 キャンパス	華雪(書家・校友)
自分史講座	自分の歩んできた人生を振り返り、一冊の本にまとめる「自分史」について、導入的に学ぶ講座です。		全5回程度／ 5～7月開催予定		朝日新聞社自分史編集委員・ 立命館大学教員 ほか
立命館孔子学院 東京学堂 中国語講座	初級Ⅰから準上級まで、段階を追って着実に力を伸ばしていくことができる講座です。校友のみなさんを対象とした割引制度があります。		全14回／ 4～7月開催予定		承春先 講師 ほか

Club X Circle

01 ▶ ボート部

「楽しさ」を力に変えるボート部の挑戦



写真提供:立命スポーツ編集局

水上でボートに乗り、一定の距離をオールと呼ばれる道具を使って漕ぎ、順位を競うボート競技。今年、ボート部は創設73年目を迎え「考動～continue to change～」をスローガンに、男女約30名の部員たちが早朝5時から滋賀県の瀬田川で練習に励む。2017年10月末に行われた「第95回全日本選手権大会」では、女子舵手なしペア競技で大会4連覇、女子エイト®競技で創部初の優勝を果たした。「昨年の決勝レースで負けた悔しさを忘れず、1年間厳しい練習に取り組めたことが、創部初の優勝につながった」と副将の上京未来選手(経済3)。クラブの歴史に新たな1ページを刻む結果となった。

男女の隔たりがなく、週6日の練習は切琢磨しながらの日々。お互いがライ

バルの関係で、主将の福田将選手(経済3)は、「女子がボート競技の花形であるエイトで優勝したことは、男子部員にも刺激になった。男子も結果を残したい」と語る。

競技のほか、応援してもらっている地域・校友・大学関係者の方への恩返しや交流を目的とした「Ritsレガッタ」は、スタートして13回を数える。ボート部の活動や競技の魅力を知ってもらう機会は、学生にとって貴重な学びの場でもある。全国、さらには世界で通用する選手を輩出するクラブを目指し、挑戦はまだまだ続く。

※エイト:オールを一人1本ずつ持ち、漕手が8人、舵手が一人でボートを進める。

02 ▶ かるた会

“競技かるた”に懸ける学生たちの情熱

「難波津に咲くやこの花冬ごもり今は春べと咲くやこの花」。序歌が歌われると会場に静寂と緊張感が張り詰める。小倉百人一首を使い、札を取り合う「競技かるた」。その激しさから「畳の上の格闘技」ともいわれ、近年では競技かるたを題材にした漫画が関心を呼び、競技人口は100万人とも。近江神宮(滋賀県)で年始に開催される競技かるた名人位・クイーン位決定戦は、昭和30年(クイーン位は昭和32年)より始まる日本一を決める戦いであり、OBの川崎文義さん(‘11文)は現在、名人位3連覇中である。

競技かるたは、自陣と敵陣の札を取り合い、先に自陣の札をなくした方が勝者となる。頭と体をフル稼働させ相手と戦うため、過酷な競技ともいわれている。

競技かるたの名門とされる本学かる

た会は、現在男女46名の部員が衣笠キャンパスを拠点に練習に励む。大学選手権や職域学生大会での活躍はもちろん、かるたの魅力をより多くの方々に知ってもらうため、附属校の生徒との交流機会も増やしている。「年齢や性別に関係なく競技することができるので、さまざまな年代の人と関わりを持つことができるのが競技かるたの魅力」と語るのは、会長の坊垂沙美さん(産社2)。競技かるたとともに歩む学生生活は、今しか過ごすことのできない時間である。



当選	計報
加藤弘氏 (77 理工) 新潟県岩船郡関川村長選挙当選	渡辺公三氏 学校法人立命館副総長
小島忠義氏 (74 理工) 福岡県糸島市議会議員選挙当選	長尾正則氏 (55 経済) 元・立命館大学校友会本部 就職委員会副委員長

校友会へご寄贈くださいました本の中から一部を紹介させていただきます。

- ◆岩水豊氏 (59 法) 著
『バイオ燃料植物 オオアブラギリ栽培ガイドブック
—含油率抜群の優良個体復活—』
(有) フォレスト・リサーチ研究所 1,400 円＋税

新校友のみなさま

立命館大学校友会へようこそ！立命館大学校友会は立命館大学・大学院の卒業生や教職員で構成された、会員数約 36 万人の組織です。校友会報「りつめい」では、各分野で活躍する校友の紹介や母校の近況をお届けします。会報を通じて、新しいフィールドに挑戦されるみなさまとつながり、ともに活動できることを願っています。

立命館大学校友会

ご連絡先の更新をお願いします

いつも、校友会報「りつめい」をご愛読いただきましてありがとうございます。ご登録いただいている情報に基づき、校友会報とともに各地の校友会の情報、イベント等のご案内を同封してお届けしています。お住まいやお勤め先などの連絡先に変更が生じましたら、下記から更新をお願いいたします。

[▶ご連絡先変更フォーム URL](#)
<https://alumni.ritsumei.jp/procedure/entry/>



まもなく球春到来、プロ野球やわが立命館が参加する関西大学野球など野球好きにとっては待ち遠しい。古い話になるが、昭和 40 年代、立命館が旧関西六大学野球連盟と二部リーグ間を行ったり来たりしていた不遇時代を思えば、毎年優勝を争う強豪チームに育ったことは夢のようである。なぜ、常勝チームに育ったのか。その要因は色々あると思うが、何といっても総合学園のプラス面を生かした“附属校と大学の連携・強化がうまく機能していること”であろう。点ではなく太い線で結ばれている。このことは野球部だけに限らない。高校・大学と連携が取れているクラブで活躍が目立つのは、リオ五輪選手を育んだ陸上ホッケー部、毎年関学与優勝を争うアメリカンフットボール部、特に女子駅伝での活躍が目立つ陸上競技部など多数あげられる。2020 年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される。強みを生かしてわが学園から多数のオリンピック選手が育って欲しいものである。(YT)

編集室から

268 号の「編集室から」でご紹介した親戚の子が、立命館宇治高校の留学プログラムで、ついにオーストラリアへと飛び立ちました。ホームステイ先にはお子さんがたくさんいて、とても良いファミリーだとか。ものすごく羨ましく話です。加えて、私の弟も社会人留学をすることになりました。「留学が当たり前」の時代から、「留学がマスト」な時代が来たなと感じます。そういえば最近では国際的な仕事に接する機会が減り、自分の留学時代の経験や記憶を活用することがなくなったことに気が付きました。自分で国際的な仕事を生み出せるよう頑張らねばと思い直す今日この頃です。(榎本暁子)

「＋Rチャレンジ奨学金」を活用し、ボーイスカウト京都連盟代表の八里智徳さんがアフリカのガーナ共和国に派遣！昨春、「復団」を果たした「京都第 90 団 立命館ローバース」。縁あって京都市長の門川大作「育成会長」の下で「団委員長」となった私は、この 1 年スカウト達を見守ってきました。すでにスカウト活動歴のある学生たちはベテランで、OA 機器を駆使した会議の進行や野外活動の準備も手慣れたものです。「復団」を主導した彼女は昨夏、他大学の男性スカウト 3 名と共にガーナの風土病「顧みられない熱帯病」の実情視察に派遣され、5 泊 6 日で住民との交流、医療施設の見学、関係者との会談を体験してきました。その報告会では多くのスカウトの共感を呼びました。今春卒業の彼女はスカウト活動歴を評価され、国際会議などを企画する会社に就職します。学園ホームページの「＋R 那人」でのスカウトの制服姿も凛々しい彼女の今後の活躍を祈っています。(宮西徳明)

「＋R 那人」URL▶http://www.ritsumei.ac.jp/features/r_na_hito/entry/?post=127

最近個性的なホテルの話をよく聞きます。それは単に泊まる場所とは違う意味です。1 つ目は京都にあるホテル。カプセルホテルですがそのイメージとは全く違う雰囲気。エントランスにカフェのようなソファ、テーブル、本棚やキッチンまであり共用部で豊かな時間を過ごせそうです。2 つ目は大阪にあるホテル。ピザと音楽を愛するソーシャルホテルとして大阪の弁天町に昨年オープン。こちらも共用部にお洒落なカフェがあり、客室は全室アナログレコードを聴けるプレイヤー完備。これまでの値段と高級さで選ぶのとは違う、ソーシャル性や個性を出した今の時代らしいコンセプトのホテルです。そんな個性を重視してホテルを選ぶのも楽しいかもしれません。(五嶋)

BOOKS FOR BOOKS REBORN
～立命館の本活～

2013 年 4 月から 2017 年 12 月末までに **4,782 名** の方々から **225,522 冊** の本をお送りいただきました。誠にありがとうございます。
引き続き、校友のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

どのような仕組みですか？

以下の本は取り扱えませんのでご了承ください。
● ISBN のない本
● 百科事典 ● コンビニコミック ● 個人出版の本
● マンガ雑誌 ● 一般雑誌
※上記の本が混入していても、費用の負担などは生じません。

古本を送付 → 古本の集荷・仕分け・買い取り → 図書充実のための費用へ

校友のみなさま → 株式会社バリューブックス (VALUE BOOKS) ※提携企業 → 立命館

手続きの方法は？

①書籍を段ボール箱に入れる。
②電話 (バリューブックス ☎ 0120-826-292) か WEB で集荷を依頼する。
※お電話の場合は右の「申込書」をキリトリ線に沿って切り取り、必要事項をご記入のうえ段ボール箱に入れてください。
※5 冊以上であれば送料は無料です。

詳しくは  **WEB** をご覧ください。

立命館の本活 検索

お問合せ先 学校法人立命館 総務部 寄付事務局 TEL：075-813-8110 (平日 9:30 ～ 17:00)

お申込みに際してのご注意

買取額は市場価格等を考慮して (株) バリューブックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている本であっても、残念ながら低額となることや値段がつかないこともございます。お申込みに際しては、その点をご理解くださいますようお願い申し上げます。

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

春季特別展

ヤズディの祈り 林典子写真展
KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2018
アソシエテッド・プログラム

フォトジャーナリスト林典子氏による少数民族ヤズディの写真展。イスラム過激派組織 IS による殺害や、性奴隷にされるという惨劇にみまわれたヤズディが、望郷の思いをかかえて未来へと生きる姿をとらえた作品を展示します。



「カディア・キャンブ、イラク」
撮影：林典子

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

第 114 回 ミニ企画展示

熟覧Ⅲ—メディア資料室への誘い—

国際平和メディア資料室の魅力を伝える企画の第 3 弾。学生スタッフによる図書や収蔵資料の紹介などから、ミュージアムのもつ豊富な教育・研究資源の活用事例をご覧ください。



昨年度の展示の様子

第 115 回 ミニ企画展示

私のレンズを通して見た、
占領下のパレスチナ

イスラエルに土地を奪われ続けるパレスチナ。そこにくらす人々の日常を、パレスチナ人写真家が住民の目線で伝えます。



「ノスタルジア」撮影：ハイサム・ハーティブ

会 期	
第 114 回 ミニ企画展示	熟覧Ⅲ—メディア資料室への誘い— 2018 年 4 月 1 日 (日) ～ 4 月 22 日 (日)
春季特別展	ヤズディの祈り—林典子写真展— 2018 年 4 月 14 日 (土) ～ 7 月 16 日 (月・祝)
第 115 回 ミニ企画展示	私のレンズを通して見た、占領下のパレスチナ 2018 年 4 月 28 日 (土) ～ 5 月 20 日 (日)
※常設展示 (地階・2 階) は、上記展示期間以外でも見学することができます。	

開館時間	午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分 (入館は午後 4 時まで)
休 館 日	月曜日 (ただし 7/16 は閉館)
観 覧 料	一般 400 円 (350 円) / 中・高生 300 円 (250 円) / 小学生 200 円 (150 円) () は 20 名以上の団体料金 / 障害者手帳等をお持ちの方 (介助者 1 名を含む) は無料

立命館大学 国際平和ミュージアム
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 TEL.075-465-8151 FAX.075-465-7899
URL▶<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum>

立命館大学国際平和ミュージアム
常設展 特別展
校 友 招 待 券
有効期間
2018 年 6 月 24 日 (日) まで
(校友 8 名以内無料)
校友会費「りつめい」
No.272